

# How to Help Students to Read English Newspapers and Magazines

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/343">http://hdl.handle.net/2297/343</a>

# 英字新聞や英文雑誌の記事を読みとる力を つけさせるための方策

大塚 巖・丹田久美子\*

## How to Help Students to Read English Newspapers and Magazines

Iwao OTSUKA and Kumiko TANDA

### はじめに

学校における英語教育では、教科書の題材を中心に進められており、多くの生徒が教科書、あるいはそれに関連した問題集等の英文以外の英語に接する機会は、ほとんど持たないというのが現状である。教科書で取り上げられている題材は、会話文から小説、伝記、科学的読み物等、バラエティーに富んでおり、生徒の興味や関心を引き起こす工夫がされている。しかし、その内容の新鮮さという点では、英字新聞や雑誌の記事にはかなわないであろう。その意味で、折りにふれ、英字新聞や雑誌の記事を教材として利用することは、生徒の英語への興味付け、読解力、語彙力を高める上で、大いに効果があると思われる。

本稿では、主に高校生以上の学習者を対象に、英字新聞や雑誌記事の効果的活用方法、及びその内容理解の手助けとなる方策を述べていきたい。

### 1 英字新聞や雑誌を利用するにあたって

#### 1 英字新聞や雑誌の記事を利用する意義

英語教育には様々な目標があるが、英語運用能力を高めることも、一つの大きな目標である。英語運用能力とは、実生活において英語を使い

こなす力を言うのだが、特に近年、この分野の重要性が叫ばれ、生徒のコミュニケーション能力を高めるために、ネイティブの教員を学校に招き、生の英語を聞かせたり、英語を話す機会をより多く持たせるなどの取り組みがなされている。

一方、英文読解の面において、英文を読み、そこに盛り込まれている情報を的確に把握する力も、実生活において必要とされる英語運用能力であると言える。この意味における読解力を高める方策として、英字新聞、雑誌の記事は、格好の題材であると思われる。なぜなら、新聞雑誌記事の使命は、とりもなおさず情報を提供することだからである。限られたスペースの中で、一定量のことを伝えるために、簡潔で的を得た文体が用いられており、情報を読み取るという学習法には、最適の文のスタイルであると思われる。また、特に英字新聞には、国内及び世界の様々な国で「今」起こった、あるいは起こりつつあるタイムリーなニュースが満載されており、生徒の興味を引き付け、彼らが内外の情勢に関心を持つきっかけを与えてくれる。さらに、ニュース記事については、日本語の新聞やテレビ、ラジオ等からも情報が入るので、生徒は予めその記事についての予備知識を持つことができ、少々難解な語句や文が出てきても、その予備知識を頼りに読み進めることができる

ことも、大きなメリットである。

新聞の、特にニュース記事が、事件、出来事の概要をどちらかといえば客観的に伝えるのに対して、雑誌記事は、その背景や人物関係などを追及し、深く掘り下げており、興味深いものが多い。新聞記事から、事件の概要をつかんだ後、さらにまた違った角度から、事件にスポットを当てているような雑誌記事に触れることも、興味深い学習となると思われる。

## 2 記事の導入の仕方

英字新聞、雑誌の記事を活用するタイミングや注意を払う点として、次のようなことが挙げられる。

まず第1に、生徒の英語習熟度や実態をよく考慮し、それに合った記事を探し導入するということである。生徒の持っている英語能力をはるかに越えるような、難解な記事を与えても、読解は困難であり、記事に対する抵抗感を助長しかねない。また、生徒の発達段階にふさわしい記事でないと、生徒は興味関心を持って取り組むことができないであろう。

2番目に挙げられることは、タイムリーな記事を使うということである。つい先日起こった出来事であるとか、今話題になっている出来事についてであれば、生徒の関心や情報量も十分であり、学習への取りかかりが容易であると考えられるからである。たとえば、イスラエルとPLOの和解、南アフリカ初の全人種参加の総選挙といったような、歴史的・一大事件とも言えるような出来事も、それが現実となっている「今」記事を読むことによって、その興奮や感動といったものも同時に体験できるのではないだろうか。

最後に、教科書との関連を持たせるということも大切である。たとえば、教科書の読み物教材で「喫煙の問題」について学習した後に、「ノンスモーカーの権利を守る運動」についての記事や、「喫煙が原因で起こった殺人事件」の記事などを読ませると、興味付けという点で効果的

である。また、教科書で、ある文法事項や構文を学習した後に、実際それが使われている記事を紹介することができれば、生徒の記事の読解を容易にするであろう。

## 3 読解力について

1でも少し述べたように、本稿で言う読解力とは、英文の1字1句をていねいに読み、1文1文を日本語に訳す力を言うのではなく、知らない語句が出てきても、辞書を引かずに読み進み、全体の概要、要点を的確に把握する力を言うのである。すなわち、単語や構文に目を向けた読み方でなく、その記事が何を伝えようとしているかを念頭におきながら、情報をつかみ取るという読み方をしていくことが、大切となるのである。一般的に、生徒はあまりこういう読み方に慣れておらず、知らない語が出てくるとすぐ辞書を引きたがるが、辞書はいっさい引かずある程度の速度をもって読んでいき、そこに盛り込まれている情報をつかみ取る力をつけさせたいのである。そして、こういう意味の読解力こそ、実生活において本当に必要な英語運用能力と言えると思われる。

## 4 読解力をつけるための方策

前項のような読解力をつけるためには、相当量の英文に触れ、前述のような読み方に慣れていくことが大切である。しかし、ただ漫然と生徒に読み物を与え、「読んでみなさい。」と言うだけでは、彼らについてはこない。生徒が興味を持って読んでみたくなるように、最初はまず日本語新聞やテレビ等でも話題になったトピックスを取り上げていくとよいであろう。生徒は予備知識をもとに、英文に取り組んでいけると思われる。また、写真など視覚に訴える物で興味を引き起こすことも、良い方法だと思われる。そして、生徒に記事を読ませた後、その内容をつかんでいく手助けとなるような様々な方法を検討し、次のような試案を考え作成してみた。

- a 日本語による質問の答えに当たる部分にアンダーライン
- b 日本語による質問と応答
- c 日本語要約文の並びかえ
- d 日本語要約文の完成
- e 日本語による真偽テスト
- f 英語による真偽テスト
- g 英語要約文の並びかえ
- h 英語要約文の完成
- i 英語による質問と応答

aからiまでの配列の仕方は、iの方に行くに従ってより高い英語能力が要求される活動であると思われる。またこの中には、cやgのように、その内容をゲーム感覚で確認していけるような方法も考えてみた。次章では、このうちaからfまでのそれぞれの実践例を述べていきたい。

## II 実践例

### 1 英字新聞、雑誌の記事例と内容理解のための手立て

この章では、aからgまでの実践例について、それぞれ記事の例を挙げ、述べていきたい。生徒の記事の読み方は、まず1度、全体を通して読み、その後それぞれの実践例の質問等を念頭におき、その答え（つまり記事の情報）を見つけ出していくような手順をとる。語句や文の意味が、すみからすみまで全部わからなくても、情報というものは、つかめるのであるから、わからない部分が出てきても、気にせず飛ばしながら読んでいくよう、アドバイスをしたい。初めは、かなりの時間を要すると思われるが、次第に短時間で情報をつかめるようになっていきたい。慣れてきたら、制限時間を設け、その時間内に内容をつかむ練習をしてもよいであろう。

### a 日本語による質問の答えにあたる部分にアンダーライン

ここでは、大阪の英会話学校の破産についての記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。

このニュースは身近に起こった出来事で、テレビでも大きく報道され、生徒は十分な予備知識を持っているので、比較的容易に内容を把握できると思われる。

次の記事を読み、下の問いに対する答えに当たる部分を文中から探し、アンダーラインを引きなさい。

### Osaka Language School Goes Bankrupt

A major language school in Osaka, citing unresolvable financial difficulties, has filed for bankruptcy with the Osaka District Court, leaving teachers and students alike empty-handed.

Attorney, a conversation school based in Kita-ku, offered English lessons at about 50 branches, mostly in the Kansai region. All offices were reportedly closed on March 25.

More than 20,000 students are currently enrolled at Attorney schools, according to information obtained from a private research company.

Attorney owes large amounts of money to students, who paid tuition fees in advance, and teachers, whose salaries reportedly went unpaid when the school closed.

Students and teachers are expected to confront the school's management over the money.

Attorney was established in 1974 and attracted many students by offering English lessons in a casual atmosphere. But fierce competition in the language education field over the past few years caused the decline and shutdown of the school, according to

Attorney's bank.

(*Mainichi Daily News*, March 29, 1994)

- 1) 大阪の英会話学校が大阪地方裁判所に何を申し出たか。
- 2) この学校の名前は。
- 3) いくつ学校があるか。
- 4) これが閉鎖したのはいつか。
- 5) この学校の生徒数は。
- 6) この学校の生徒と教師は、経営者側と何のことで争っているか。
- 7) この学校が設立されたのはいつ。
- 8) 経営悪化の原因は。

解答

- 1) ( has filed for )bankruptcy
- 2) Attorney
- 3) about 50
- 4) March 25
- 5) more than 20,000
- 6) money

さらに「そのことについて具体的に書かれている所は」という発問により「students who paid tuition fees in advance, and teachers, whose salaries reportedly went unpaid」の部分を引き出してもよいし、教師側から補足説明をしてもよいであろう。

- 7) 1974
- 8) fierce competition in the language education field

#### b 日本語による質問と応答

ここでは、南アフリカ初の黒人大統領誕生の記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。

このニュースは、まさに歴史に残る一大事件とも言えるもので、もちろん日本の報道機関も連日のように取り上げてきた話題であるので、生徒の情報量も十分であると思われる。やや難解な語句も多いが、予備知識をもとに、ほぼ内

容はつかめると思う。

次の記事を読み、下の問いに日本語で答えなさい。

#### Mandela Elected President

CAPE TOWN (AP)-Nelson Mandela was chosen South Africa's first black president Monday by the new multiracial Parliament to complete the country's remarkable transition from white rule to democracy.

"Today we are entering a new era for our country," Mandela told tens of thousands of cheering supporters from the balcony of Cape Town's City Hall moments after he was selected president in the nearby parliament building.

With the majestic Table Mountain in the background, Mandela addressed the country from the same balcony as on Feb.11,1990, the day he was released from 27 years in prison.

"The people of South Africa have spoken in these elections," he said. "They want change—and change is what they will get."

The former political prisoner was the only nominee to succeed F.W.de Klerk, with whom he shared the 1993 Nobel Peace Prize for negotiating the end of apartheid. Mandela will be inaugurated Tuesday in a massive celebration in the capital of Pretoria.

"I accordingly declare Mr.Nelson Rohlh-lala Mandela duly elected as the president of the Republic of South Africa," announced Chief Justice Michael Corbett. With that, the members of the new 400-seat National Assembly dominated by Mandela's African National Congress leaped to their feet, applauding and shouting with joy.

Immediately afterward, Mandela stood on the Parliament steps with de Klerk and

ANC national chairman Thabo Mbeki, his two deputy presidents, to hear the nation's two national anthems. He held his right hand over his heart for both the one used by the white government and newly added ANC anthem.

From among the onlookers came choruses of "We have overcome." Military members gave Mandela his first salute as head of state.

Earlier, Mandela and de Klerk strode in together on a red carpet to a standing ovation from the gathered lawmakers, many of them former exiles and prisoners in the ANC struggle against apartheid.

Mandela sat in de Klerk's old seat, while the outgoing president sat on the opposition benches for the first time in his 22 years in Parliament.

(*Mainichi Daily News*, May 11, 1994)

- 1) ネルソン マンデラ氏は何に選ばれたか。
- 2) これによって、どういう政治形態が終わったか。
- 3) 国会の位置する都市は。
- 4) マンデラ氏は、何年間獄中にいたか。
- 5) 彼が解放されたのはいつか。
- 6) 彼は、誰から政権を受け継ぐか。
- 7) マンデラ氏と6)の人物は1993年に何を受賞したか。
- 8) これはどういう功績に対して授けられたのか。
- 9) マンデラ氏の率いる党の名は。
- 10) 彼を祝福する議員たちの多くは、その政治闘争の中で、どのような苦難を経験した人たちか。
- 11) 6)の人物は、何年間政権を執ってきたか。

解答

- 1) 南アフリカ初の黒人大統領
- 2) 白人支配の政治形態
- 3) ケープタウン
- 4) 27年間
- 5) 1990年2月11日
- 6) デ・クラーク
- 7) ノーベル平和賞
- 8) アパルトヘイト(人種差別政策)を撤廃するための取り組み
- 9) ANC(アフリカン・ナショナル・コンGRESS)
- 10) 亡命をしていた人たちや、政治犯として獄中にいた人たち
- 11) 22年間

### c 日本語要約文の並びかえ

ここでは、ロシアで起こった誘拐事件についての記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。

この記事は、その事件経過が、時間の流れとともにわかりやすく書かれている。従って、第1パラグラフから順次読み進んでいけば、事件の概要は、容易につかめると思われる。

下の短文は、次の記事のそれぞれのパラグラフを要約したものである。第1パラグラフの要約から順に並びかえなさい。

### Russian Kidnapping Ends, Hostages Free

MOSCOW (AP)—A 24-hour hostage drama ended Friday with commandos freeing four remaining captives unharmed in a wild mountain region of southern Russia and reclaiming millions of dollars in ransom money.

Three of the kidnappers were seized and a fourth died in a shootout, authorities said.

It was the second hostage-taking incident in the area in five months, highlighting the crime wave that is sweeping Russia.

The kidnappers, granted the helicopter

they demanded along with a three-man military crew, took off from the resort city of Mineralnye Vody at 9:15 a.m. with their four hostages on board.

Army helicopters carrying antiterorist squads were close behind, said Maj. Viktor Gusakov, an Interior Ministry spokesman in the city. Police and news reports said five helicopters with special forces, including the crack Alpha unit, were involved in the chase.

About three hours later, the Mi-8 landed near the village of Bacha-Yurt in Chechnya, a breakaway province of Russia.

Three of the kidnapers were captured almost immediately, said Alexander Kalmykov, a police official in Mineralnye vody. The fourth gunman tried to flee into the near-by woods and was killed in a gunbattle with the special forces, he said.

There were conflicting reports about the size of the ransom that authorities paid. Unconfirmed reports said the kidnapers had burned some of the money.

An Interior Ministry spokesman in Mineralnye Vody, Igor Denisov, said the kidnapers got \$10 million. Another spokesman in Moscow, Yuri Reshetnik, said the ransom was \$4 million, and Russian Television put it at \$8 million.

In Chechnya, Interior Minister Apti Barsnukayev said the hostage-takers received six bags containing \$4 million. The ransom was recovered in full, he told the Interfax news agency.

At least three of the gunmen were identified as residents of Chechnya, known for its fierce warrior culture and ruthless criminal gangs. Interfax said Chechen villagers prepared to repel what they mistook for a Russian attack when special forces

landed.

( *The Daily Yomiuri*, May 29, 1994 )

- a. 誘拐犯たちは、人質を乗せ、ヘリコプターで、ある町を飛び立った。
- b. ヘリコプターの着陸と同時に、3人が逮捕され、森へ逃げようとした1人は、殺された。
- c. 身代金が、1,000万ドルという報道もあれば、400万ドルという説もある。
- d. 24時間に渡る、誘拐人質事件は、人質全員無事、身代金も取り返されるという形で、解決した。
- e. 誘拐犯の乗るヘリコプターを、軍のヘリコプターが追いかけた。
- f. 内務大臣の発表では、犯人に渡った2,400万ドルの身代金は、すべて取り返された。
- g. ヘリコプターは、チェチェンの村へ着陸した。
- h. 身代金の額については、様々に言われている。
- i. 誘拐犯のうち、3人はつかまり、1人は殺された。
- j. 犯人のうち、少なくとも3人は、チェチェン出身と確認された。
- k. この誘拐人質事件は、この5ヶ月間で、2度目である。

解答

d. i. k. a. e. g. b. h. c. f. j.

#### d 日本語要約文の完成

ここでは、オーストリアで起こった封筒爆発事件についての記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。

この記事は、雑誌からのもので、やや長いが、内容はショッキングなものであり、また、今問題となっているボスニア紛争やネオ・ナチの台頭などとも関連があり、興味深いものである。事前に少し、この事件の背景を、説明してやれ

ば、読みの取りかかりが容易になると思われる。

次の記事を読み、下の要約文の（ ）内に、適当な語を入れなさい。

### **Sending Hate by Male**

Vienna Mayor Helmut Zilk was briefed about the bombs as he returned to the city last week, but he wanted to clear the stack of personal mail that awaited him after a three-day trip to Switzerland. Sitting in front of the TV, he started to open his letters. Minutes later an explosion virtually destroyed his left hand. Severe loss of blood caused heart complications, and at week's end Vienna's man-of-the-people mayor was still in the hospital.

Zilk was one of four victims of a letter bomb campaign that has shocked Austrians proud to live in a country free of the violence that has afflicted other parts of Europe. Ten letters were sent in all, but six were intercepted and deactivated by police. All of the targets seem to have been chosen for their support for immigrant and minority rights. Zilk is outspoken in his support of Vienna's Jewish community, Father August Janisch works with asylum seekers, Silvana Meixner hosts a television show for ethnic minorities and Astrid Bielek works for a lawyer who represents an Islamic aid organization. As the European recession begins to dent the economy, many Austrians are turning their fear of unaccustomed austerity against the influx of immigrants from Romania and refugees from the war in Bosnia. The right-wing Freedom Party has gained support steadily with its promise to restrict the number of foreigners.

Still, the highly professional mail bombs were chillingly new in Austria. All the

devices were sent in white 15-cm by 10-cm envelopes marked PERSONAL. Packed with enough nitroglycerin to kill, a small flaw in construction prevented any fatalities. In each envelope was the same message: "We are defending ourselves!" signed with the name Count Ernst Rudiger von Starhemberg, a 17th century aristocrat who defended Vienna against Turkish invaders.

Police investigators suspect some involvement from neighboring Germany. Eight hundred officers are involved in a massive investigation that has so far netted two known Austrian neo-Nazi activists. One of them was arrested at the Czech border, apparently on his way to Berlin with a carful of rifles and handguns. A neo-Nazi hit list of German enemies of the far right was disclosed by the German media a day before the first mail bomb exploded in Austria.

The attacks brought the normally apathetic Viennese into the streets in protest. Thousands signed petitions condemning the violence. "What", asked the daily newspaper *Der Standard*, "in our apparently harmonious and cultured land has gone so badly wrong that people turn to explosives instead of putting forward arguments in support of their viewpoint?" On Tuesday public transport and TV and radio transmissions halted across Austria for a minute of silence—a fitting remembrance not just for the mail-bomb victims, but also for a treasured tranquility now lost.

( *Time*, December 20, 1993 )

( 1 ) 市長のもとに届いた手紙が爆発し、これによって彼は、( 2 ) を失い、今も入院中である。この種の事件は、彼を含め ( 3 ) 件起きているが、すべてターゲットにされた犠牲



者は、(4)や少数民族の権利を、擁護する人たちである。治安の(5)を誇るオーストリアの人々にとって、ショッキングな事件である。

その背景には、ヨーロッパ中に蔓延する(6)が、オーストリア経済を打ちのめしており、ルーマニアからの大量の(7)や、ボスニアからの(8)に、不安を持つ人々が、増えているという事実がある。(9)も着実に、支持を増やしている。

封筒中には、致死量の(10)が詰められており、(11)というメッセージが入っている。

大規模な捜査により、警察はこれまで、1人の(12)を逮捕した。多くの人たちが、抗議のデモを行ったり、暴力を非難する(13)に、署名している。

#### 解答

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1) ウイーン | 9) 右翼政党       |
| 2) 左腕   | 10) ニトログリセリン  |
| 3) 4    | 11) 我々は、自分自身を |
| 4) 移民   | 守る。           |
| 5) 良さ   | 12) ネオ・ナチ活動家  |
| 6) 不況   | 13) 嘆願書       |
| 7) 移民   |               |
| 8) 難民   |               |

#### e 日本語による真偽テスト

ここでは、巨人軍の横原投手の完全試合達成についての記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。

このニュースは、日本の有名な野球選手についてのものであり、多くの生徒が親しみを持って読める記事である。タイムリーということを生かすことがポイントなので、この出来事があった直後に読ませたい。

次の記事を読み、下の文が記事の内容と合っていればT、違ってればFの記号を書きなさい。

#### Giants' Makiyara Attains Perfection

Yomiuri Giants pitcher Hiromi Makiyara hurled a perfect game Wednesday night, guiding the Central League leaders to a 6-0 victory over the Hiroshima Carp at the Fukuoka Dome.

By not allowing any opposing batters to reach base, the 30-year-old righthander became the 15th pitcher in Japanese pro baseball to toss a perfect game.

It was the first such event since Yutaro Imai of the Hankyu Braves blanked the Lotte Orions in 1978.

"I feel like I'm dreaming," said Makiyara after the game. "Every pitcher dreams of a perfect game and I feel happy to be a hurler."

Makiyara, who said he became conscious of the would-be perfect game from the third inning, used fastballs effectively to strike out seven. He threw only 102 pitches enroute to his fourth victory of the season against one loss.

Hideki Matsui went 2-for-4 and drove in two runs for the Giants, who were playing in the 7,000th game in the 60-year history of the club.

Makiyara joined the Giants in 1982 and became a free agent after last season, but re-signed with Yomiuri.

Makiyara has chalked up 112 wins, 90 losses and 6 saves spanning a 13-year career.

The Giants snapped their losing streak at three.

(The Japan Times, May 20, 1994)

- 1) 読売ジャイアンツは、広島カーブに6対0で勝った。
- 2) 横原の完全試合は、15年ぶりのことである。

- 3) 彼は、最後まで完全試合が達成できるとは、思いもしなかった。
- 4) この日彼は、102球を投げ、7つストライクをとった。
- 5) この日の勝利が、彼にとって、今シーズン初めての1勝であった。
- 6) 槇原は、読売ジャイアンツに入って、10年めである。

解答

- 1) T 2) F 3) F 4) T 5) F 6) F

#### f 英語による真偽テスト

ここでは、タバコの宣伝を禁止する運動についての記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。喫煙の問題については、いろいろな所で論じられており、禁煙運動や、喫煙と病気の関係についてなどは、おなじみの話題である。したがって、この記事は、たやすく読解できると思われる。

次の記事を読み、下の文が記事の内容と合っていればT、違っていればFの記号を書きなさい。

#### WHO Calls for Ban on Tobacco Ads

MANILA (AFP-Jiji)—The World Organization called for a total ban Wednesday on tobacco advertising in East Asia and the South Pacific, blaming it for the rapid rise in smoking among women in the region.

"I believe that a ban on any kind of promotion, as part of the comprehensive WHO tobacco control strategy, will lead to a sustained reduction in smoking over time," WHO Western Pacific director Han Sang Tae said in a statement.

He said increasing tobacco use in the region would lead to a sharp rise in tobacco-

related diseases, disabilities and deaths, with a shift toward the developing world. WHO said annual tobacco-related deaths worldwide stood at about three million.

Han said ads aimed at Western Pacific women, of which only five percent smoked, was a "true attempt to create a market where none exists. Evidence is already emerging that there is an increase in smoking among young girls in many countries in this region."

Han praised the total tobacco advertising ban now in place in Australia, New Zealand, Singapore and Vietnam, and called on other countries "to follow their example and ban all tobacco promotion in the Western Pacific by the end of the decade."

( *The Daily Yomiuri*, May 26, 1994 )

- 1) The number of women who smoke is rapidly increasing in East Asia and the South Pacific.
- 2) WHO thinks that the tobacco advertising ban is effective to reduce the number of smokers.
- 3) Annual deaths caused by tobacco are about three million in developing countries.
- 4) More tobacco ads are targeting Western Pacific because there is a big market in the region.
- 5) The Philippines is one of the countries which ban all the tobacco advertising.

解答

- 1) T 2) T 3) F 4) F 5) F

#### 2 語彙の扱い方

生徒に記事を読ませる時は、知らない語句が出てきても、辞書は引かせないが、この読み方

により内容を確認した後は、文中に出てきた難解な語句や重要語は、その意味を提示し、確認することが大切であると思われる。語句の意味をしっかりと押さえ、定着させることは、次へのステップにつながるからである。語彙を増やすことによって、読解力もまた伸びていくので、この語句のフォローは、おろそかにできない指導過程である。

しかし、その語句の押さえ方も、いつも意味を書いたプリントを配布するという、単調なやり方でなく、工夫次第でいろいろ目先が変わった方法がとれると思われる。以下、語句の押さえ方の二つの例を挙げてみたい。

#### (例1)

記事の背景が、よく知られているものについては、その知識を頼りに語句の意味がつかめるので、推測で意味を考えさせる。

ここでは、アンネ・フランクの遺品の展示会についての記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。

次の記事を読み、下線部の語の意味を考えなさい。

#### **Anne Frank letters to go on display**

An exhibition of photos and memorabilia including letters by Anne Frank, the Jewish Dutch girl who perished in a Nazi concentration camp in World War II, will go on display at the Tokyo Metropolitan Government headquarters from Tuesday, organizers said Monday.

The Anne Frank letters are newly acquired by the Simon Wiesenthal Center's Museum of Tolerance in Los Angeles. It will be the first time they have gone on display anywhere in the world.

The exhibition, called "The Courage to Remember," contains 40 panels of 200 photos

and other memorabilia. It will end on May 20.

( *Mainichi Daily News*, May 10, 1994 )

- 1) memorabilia
- 2) perish
- 3) concentration camp
- 4) acquire
- 5) courage

解答

- 1) 記録, 遺品, 備忘録
- 2) 死ぬ
- 3) 収容所
- 4) 手に入れる, 取得する
- 5) 勇気

#### (例2)

同じニュースを扱った日英両方の記事を与え、英文記事中のいくつかの語句の意味に当たると思われる部分を、日本語記事から探し出させる。日本語記事は、英文記事の直訳ではないので、生徒は知っている語を手がかりに、未知の語の意味を推測していかなければならない。ここでは、徳之島のトライアスロンに参加したアメリカ人父子についての記事を例に挙げ、実践例を作成してみた。

次の文中の、下線部の語の意味に当たると思われる語を、日本語記事から探しだし、アンダーラインを引きなさい。

#### **Father-son Team to Race in Japan**

A father and his handicapped son, who have inspired thousands of people by competing in hundreds of triathlons and marathons despite the son's disability, have been invited to take part in a race in Japan for the first time.

Dick Hoyt, 53, and his 33-year-old son Rick have participated in 580 marathons and

triathlons around the world, and probably would have raced in Japan by now if it hadn't been for a law prohibiting cyclists from carrying passengers on public roads.

The problem for racing officials in Japan has been the specially-designed tricycle which carries Rick while Dick pedals. Although Rick is a participant in the races, his disability prevents him from actually swimming, pedalling or running. Officials have thus categorized him as a passenger and have consistently rejected the Hoyts' participation in races in Japan. "Only one person on a bicycle at a time," said one race official in the past who had decided against inviting the Hoyts. "Races are usually run on public roads, and we can't permit their entrance if it violates the law."

The precedent-setting race takes place on Sunday June 12 in Kagoshima Prefecture in the town of Amagi.

Mayor Yoichiro Kotobuki said he invited the Hoyts because he "wanted to help them fulfill their dream." Police gave Kotobuki the green light on condition that the tandem posed no safety worries.

Yasuhiro Inada, manager of a triathlon team in Sakai City, Osaka, which has been trying to get the Hoyts invited to races in Japan, said he hopes that this will lead to more competitors coming here.

In triathlons, Hoyt pulls his son in a rubber raft in the swimming section, transports him on a specially-designed tricycle in his bicycle section, and pushes him in his wheelchair in the running section.

(*Mainichi Daily News*, June 6, 1994)

### 息子の車椅子 父が押してこぐ

身障者の息子とともに国際的な鉄人レースや

フルマラソンにチャレンジし、「車椅子のアスリート」として世界の人々に感動を与えてきた米・ボストンのホイットさん父子が、12日に鹿児島県・徳之島の天城町で開かれる「'94トライアスロンin徳之島」に参加することが決まった。父子はこれまで「2人乗りのバイク（自転車）は道交法上、問題がある」として日本国内のレースから拒まれていたが、天城町の熱意と警察の英断が突破口を開いた。

父親は米空軍軍人のデック・ホイットさん(53)。長男のリックさん(33)は歩行や会話はもちろん、食事も一人でできない生まれながらの重度身障者。

1979年以来、世界各地で580回を超すフルマラソンやトライアスロンに父子で参加。ゴムボートや車椅子に息子を乗せて力走、力泳する姿が、同じ境遇の人々や家族に感動を与えた。

父子がトライアスロンに挑むスタイルは、水泳では救命胴衣をつけた息子をゴムボートに乗せて引泳、バイクは車椅子と父親の自転車が合体した特別仕様の三輪車、ランニングは息子の車椅子を押して力走する一というもの。

これまでは、大会実行委などの主催者が2人乗りの特別仕様車にこだわった。「レース中、一般車両が走る公道を使用するため、許可できない」「走行は1人が原則」と参加を拒否してきた。

しかし、今回は寿洋一郎・天城町長が「父子の夢を実現させたい」と招待を決意。徳之島署も「安全上、問題はない」とゴーサインを出し参加が本決まりになった。

父子の招待を各地で働きかけてきた大阪のトライアスロンチーム「コスミック」の稲田泰弘さんは「町と地元警察の勇断に感謝する。これがきっかけとなり、各地で門戸が開かれることを期待したい」と話す。

天城町のトライアスロンは今年で7回目。「国内大会に初めて迎えるホイットさん親子に、悔いのないレースをしてほしい」（吉田満・町企画課長）と準備に追われている。

(『毎日新聞』、1994年6月6日)

## 解答

- |                           |             |
|---------------------------|-------------|
| 1) handicapped            | 身障者の        |
| 2) inspired               | 感動を与えてきた    |
| 3) competing<br>(compete) | チャレンジし      |
| 4) take part in           | 参加する        |
| 5) participated in        | (・・・父子で) 参加 |
| 6) tricycle               | 三輪車         |
| 7) rejected               | 拒否してきた      |
| 8) can't permit           | 許可できない      |
| 9) mayor                  | 町長          |
| 10) fulfill               | 実現させたい      |
| 11) gave--the green light | ゴーサインを出し    |
| 12) rubber raft           | ゴムボート       |
| 13) wheelchair            | 車椅子         |

## III まとめと今後の課題

語句や構文の意味を、ていねいに一つひとつ確かめながら読んでいく精読は、英語力を高めるために必要なことであるが、いつもこういう読み方ばかりでは、英語に接する量も限られてくるし、読むことがおっくうになってくる。時には楽な姿勢で、好きな所だけかじり読みするというのも、大切である。気軽に英語に接しているうちに、読むことが大儀でなくなり、自然と語彙も増え、読解力がつくからである。そしてこういうかじり読みの題材として、英字新聞や雑誌の記事は最適である。にもかかわらず、大半の生徒たちは、英字新聞など、とても自分たちに読めるものではないと思いきんでおり、

目を向けようとしぬのが現状である。そういう生徒たちの英字新聞や雑誌に対する抵抗感を、少しでも取り除く手段として、今まで述べてきたような様々な方法を考えてみた。これらの方策が、生徒が英字新聞や雑誌に接する機会を与え、「ニュース記事は、そんなに難しくないんだ。私にも読める。」という自身を持つ、一助となることを願うものである。

今後の課題として、語彙数の限られている初級レベルの学習者へ、どのようにニュース記事を導入するかということも考えていきたい。学習者に合わせて、記事を書き直したり、要約したものを使えば、十分ニュース記事の活用ができるのではないと思われる。また、記事をシリーズで読むという方法についても、考えてみたい。大きなニュースについては、何日間も続けてそのニュースについての記事が、掲載されることがある。そういうシリーズの記事を読んでいく学習法も、効果的なのではないだろうか。特に、語句については、同じ語句が毎日出てくるので、何度も触れているうちに、自然とその意味が覚えられ、語彙を増やし定着させる方法として、大変効果的だからである。

## 参考文献

- 大下邦幸 1985 「読む力をつける指導法」『新・英語科教育の研究』 pp.219-225 大修館  
 富田春生 1989 『英文記事の読み方、書き方』 連合出版  
 横尾和歌子 1991 『やさしい英字新聞の読み方』 ジャパン・タイムズ